

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 点訳音訳奉仕団育成事業費補助金（単補）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111（内2608）

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 100千円（前年度予算額： 100千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	100	0	0	0	0	0	0	0	100
要求額	100	0	0	0	0	0	0	0	100
決定額	100	0	0	0	0	0	0	0	100

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

点訳、音訳ボランティア及び外出サポートボランティア等の資質向上と活動の円滑化の推進に対して助成を実施

（2）事業内容

岐阜アソシアの点訳・音訳ボランティア及びその練習中の者、事務作業ボランティア等の協力者で組織する岐阜アソシア奉仕者の会の育成強化

（3）県負担・補助率の考え方

点訳音訳奉仕団育成事業補助金：100千円（県10/10：定額補助）

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	100	ボランティア組織運営費等に助成
合計	100	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

視覚障がい者の福祉向上と自立促進を図るため、県負担は今後も必要

(2) 事業主体及びその妥当性

岐阜県図書館と視覚障害者生活情報センターぎふが相互協力により、全国に先駆けて実施した事業であるため、助成することは妥当

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	点訳・音訳奉仕団育成事業
補助事業者（団体）	社会福祉法人岐阜アソシア
補助事業の概要	（目的）点訳・音訳奉仕員養成研修事業において養成した奉仕員の資質向上。 （内容）ボランティア活動への協力や、研修会の開催に要する経費を支援する。
補助率等	定額 ・定率・その他（例：人件費相当額） （ ）
補助効果	点訳・音訳奉仕員養成研修事業において養成した奉仕員の資質向上。
終期の設定	令和5年度

（事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>ボランティア活動への協力や、研修会の開催に要する経費を支援し、点訳・音訳奉仕員養成研修事業において養成した奉仕員の資質向上を目指す。</p>

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (S48年度末)	目標 (H30年度末)	目標 (終期)
① 点訳及び音訳ボランティア数	-	710	720

	H29年度	H29年度	H30年度	R2年度 <small>(予算額)</small>	R3年度 <small>(要求額)</small>
補助金交付実績	100千円	100千円	100千円	100千円	100千円
指標①目標	695	710	720	720	720
指標①実績	684	707	/	<small>(推計値)</small>	<small>(推計値)</small>
指標①達成率	98%	99%	%	<small>(推計値)</small>	<small>(推計値)</small>

（前年度の成果）

<p>< 研修会の開催 ></p> <p>例月開催：点訳学習会、点訳の集い、点訳勉強会、音訳学習会、音訳勉強会、音訳校正学習会、DAISY学習会、点訳研究会、音訳研究会</p> <p>例年派遣：全国盲人福祉施設大会、音訳ボランティア研修会、点訳指導員研修会、音訳資格認定講習会</p>
--

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

視覚障がい者の社会情報、文化情報に対する要望に応える点字図書・録音図書の製作は、点訳及び音訳のほとんどが、この奉仕団の無料奉仕によって行われているため、活動の継続が求められている。

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)

○ : 必要性が高い、△ : 必要性が低い

(評価)

○

視覚障害者生活情報センターぎふを拠点に活動するボランティアによって組織する、岐阜はもんの会の育成を強化し、点訳・音訳ボランティア等の資質向上や、各ボランティアの円滑化を図ることで、視覚障がい者の文化、教養の増進に貢献してきた。

・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

○ : 概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている

△ : まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)

○

第 65 回全国盲人福祉施設大会(平成 29 年度開催)においてはボランティア 4 名がボランティア表彰を受賞するなど、効果が得られている。

・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)

○ : 効率化は図られている、△ : 向上の余地がある

(評価)

○

奉仕団機関誌を毎月発行し関係者に配布することで、奉仕員相互の連絡を密にし、資質の向上に努めた。

(事業の見直し検討)

事業継続のためには県の補助が不可欠だが、奉仕団の活動が視覚障がい者の社会情報等の取得に不可欠なため、引き続き県の補助が必要。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止

(理由) 事業継続のためには県の補助が不可欠だが、奉仕団の活動が視覚障がい者の社会情報等の取得に不可欠なため、引き続き県の補助が必要。